交通事業会計

事　　項	30 年 度	29 年 度	増(△)減
	百万円	百万円	百万円
1　都営バス			
（1）　燃料電池バスの導入	59	6	53
水素社会の実現に貢献するため、先導的に燃料電池バスを導入する。	規模 (　30両)	(　5両)	(　25両)
（2）　新たなバスモデルの展開	898	619	279
日本初となるフルフラットバスの導入や、デジタルサイネージの活用による駅から車内まで連続した情報案内の提供など、誰もが利用しやすい新たな路線バスのモデルを先導的に展開する。 フルフラットバス　29両			
（3）　バス停留所上屋・ベンチの整備	490	356	134
バス停留所での待ち時間における負担感の軽減を図るため、上屋やベンチを整備する。また、一部の上屋へのソーラーパネル等の設置を進める。	規模 (上屋　80棟) (ベンチ　90基)	(上屋　75棟) (ベンチ　70基)	(上屋　5棟) (ベンチ　20基)
（4）　バス停留所のＬＥＤ照明化	81	117	△ 36
バス停留所の標識柱や上屋照明についてＬＥＤ照明を導入する。	規模 (標識柱　100基) (上屋　100棟)	(標識柱　150基) (上屋　100棟)	(標識柱　△ 50基) (上屋　0棟)